

(事業所自己評価実施日) : 令和4年12月実施 (公表) : 令和5年3月31日

事業所名 : 児童発達支援センタースイスイなかま 6人中6人回収 回収率 : 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2			・構造化された環境設定の中で個々の発達状況に合わせた療育支援の提供をおこなっています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6				・安全かつ質の高い療育ができるように、収支状況にもよりますが適正な職員の配置をおこなって参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1		5		・バリアフリーではない。 ・環境設定は工夫し設備されていますが、バリアフリーで改善すべき点が見られる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4			・カンファレンス等で個別支援計画を共有した中で、療育支援内容の検討を図ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	4			・保護者向け評価表は令和4年11月21日に配布し～令和4年12月中旬頃までの提出依頼をおこない集計を実施しました。いただきましたご意見を参考にし、可能な限り業務改善につなげて参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	2		・集計公表は、年度内の3月末に公開予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1		・「第三者評価」はおこなっておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				新型コロナウイルス感染拡大が続き外部研修への参加取組みは難しいところがありました。 熊本県子ども総合療育センター職員の方からお力添えをいただき随時、定期研修をとらして職員一人ひとりの資質向上に努めました。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1			保護者、他機関との連携による情報を共有しながら、児童の発達の状況に合わせた個別支援計画を作成して参ります。アセスメントが不十分な部分もあるかもしれませんが、新しい情報をモニタリングなどを通して更新して参ります。毎年度保護者の方へニーズの確認をおこなって
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4		1	・自閉症スペクトラム障害の子どもに特化した個別式のアセスメントツール太田ステージによる評価を活用し、アセスメント内容検査を5段階(LDT-R1~5)評価をおこないその発達性に合わせて課題設定をおこないます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		3	3		全職員でおこないます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2	2		個々に合わせた活動プログラムとその方の興味関心に合わせたプログラム内容となっているかカンファレンスをとらして協議検討を行ないます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		6			楽しく学べる活動を基本的に課題プログラム目指して参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	2	2	1	個々の発達状況の情報共有を図って参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		3	3		支援終了後のカンファレンスの時間の確保の検討と次の支援に取組むべきことの協議する時間の確保について協議検討して参ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		2	4		支援終了後のカンファレンスの時間の確保の検討と次の支援に取組むべきことの協議する時間の確保について協議検討して参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				支援の記録が支援の改善に結びつけられるように、その日の状況状態を記録しサービス提供に結びつけて参ります。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		令和4年5月から児童発達支援管理責任者が不在が続いているため、担当者が中心となって相談支援事業所等と連携し支援計画目標の設定をおこなった。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	3		おこなっています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			令和4年5月から児童発達支援管理責任者が不在により、その児童担当者と管理者が会議へ参加し、情報の共有を図った。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	2		送迎利用者リスト表を定期的にまた、必要な時に各学校へ提出をおこない学校との連携を密に図れるようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	/	福祉型児童発達支援の為対象児童はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4			その都度、利用児童の必要性に応じておこないます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	1		・小学校までなのでほとんどない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4			業務上可能な限り参加を行うようにしております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6		利用児童の所属するところで交流が図れているので、改めて交流の場の提供はおこなっておりません。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2		4		自立支援協議会への参加はおこなっておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1			事業所へ迎えに来られる保護者へは、その時に家庭等の近況について学校での様子を伺い情報の共有を図っております。学童などへの送迎の場合、学童の先生を解して情報共有をおこなうこともあります。保護者へ月に1回のお迎えの協力をお願いしております。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		3		令和4年度も前年度に引き続き、児童発達支援の年長児保護者向けにペアレントプログラムの実施をおこないました。放デイ保護者の方へも機会を見てペアレントトレーニング等を実施できるよう検討して参ります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1			おこなっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				おこなっています。悩み相談がある場合には、来所や電話等で対応をおこなっています。保護者の方には相談しやすい雰囲気づくりを心掛けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6		保護者会は、組織されておりません。保護者同士の連携を深めることが出来るような取り組みを検討して参ります。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				保護者からの申し入れに関しては、迅速に対応しています。事業所で抱えきれない問題等については同意を得て、他の各関係機関等への相談もおこなっています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1			ひと月に1回、通信便りによる連絡事項、行事予定等をおこなっています
	35	個人情報に十分注意しているか	6				本児の前で保護者から相談があることもあるので、状況に応じて相談場所を変たりして児童への配慮も意識して取り組んでいます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			1	個々の家族に合わせたコミュニケーションをおこなっております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4		個人のプライバシーに配慮し、地域に開かれた活動は実施しております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			1	事業所内の一角にボックスを設置し周知を図って参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				定期的に年2回の火災避難訓練等を計画し、実施をおこなっております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				法人全体による職員研修会や事業所ごとによる研修会を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	1	1	・対象者なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1	1	・対象者なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	2		ヒヤリハットの事例集などをとおして情報の共有を図り、事故の未然防止に努めて参ります。